

『世界の卓越した女性の看護師・助産師のリーダー 100人』に選出されました

新福 洋子 大学院医系科学研究科 保健学分野 国際保健看護学 教授

世界保健機関（WHO）は2020年を「看護・助産の年」と位置づけ、その一環として12月下旬に『100 Outstanding Women Nurse and Midwife Leaders（世界の卓越した女性の看護師・助産師のリーダー 100人）』を発表し、その1人に日本人で唯一、新福 洋子教授が選ばれました。

新福教授の受賞理由として、2014年にタンザニアで初となる助産学修士課程の創設に貢献したこと、最近ではタンザニアの助産師のためのスマートフォンアプリを開発しWHOガイドラインに基づく助産ケアを推進していること、国際的な若手科学者団体Global Young Academyの執行役員として国際会議での登壇や政策提言を通し、若手研究者が活躍する基盤づくりに国内外で広く貢献していることなどが挙げられています。

新福教授は「受賞を光栄に思います。何よりも女性たちがより健康に妊娠期を過ごし、適切に出産準備をすることを大切にしてきたこと、また、助産ケアの改善から合併症の予防につながる発想が評価されたのだと思います。今後は、この研究教育活動を、他のアフリカ地域にも広げていきたいと考えています。」と今後の抱負を語っています。



若年妊娠を予防する教育支援の様子

編集後記

キャンパス内の新緑からみなぎる生命力を感じる季節となりました。世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況が続き、様々な社会活動に大きな制限が課されていますが、日本でもようやく、ワクチン接種が医療従事者や高齢者に対して開始されました。

そんな中、BioMed News第5号の発刊にあたり、ご協力いただきました執筆者および編集者ならびに広報委員の皆様へ心より感謝いたします。「巻頭言」には、本年4月に新たな研究科長に就任された丸山 博文先生が、多分野間の横断的な連携・融合による研究活動のさらなる発展に対する期待と抱負を述べられています。その他にも本号は、4名の副研究科長のご挨拶、4名の新任教授のご挨拶、2つの新設講座紹介、2名の教授の座右の銘など充実した内容となっています。是非、ご愛読をお願いいたします。

2021年5月 広報委員 吉永 信治

2021年（令和3年）5月発行

編集発行：広島大学大学院医系科学研究科広報委員会
 住 所：〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号
 電 話：(082) 257-5013（霞地区運営支援部総務グループ）
 E-mail：kasumi-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp
 U R L：https://www.hiroshima-u.ac.jp/bhs